



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2019年 7月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6205-4377 Fax.03-6205-4378

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

第23回日本太鼓チャリティコンサート開催 「一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京」の事業活動を支援



(バードライフ・インターナショナル
名誉総裁 高円宮妃久子殿下)

5月24日(金)恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを日本財団の助成事業として草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。今回は鳥類を指標として、その生息環境の保護を目的に活動しておられる「一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京」を支援するために実施いたしました。

バードライフ・インターナショナル名誉総裁である高円宮妃久子殿下のお成りを賜り、各国の在日大使、政・官・財界各分野で活躍されている300名を超える方々にご出席いただきました。会場には「(一社)バードライフ・インターナショナル東京」の活動を紹介するパネルが展示され、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、共催者を代表して高円宮妃久子殿下にご挨拶をいただきました。また、主催者を代表して塩見和子理事長が挨拶いたしました。

当財団加盟約700団体から選ばれた4団体に加え、昨年11月に開催された「第15回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた松本敏春氏(石川・加賀の太鼓「無限」)と、本年3月に開催された「第21回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝団体「和太鼓たぎり」(福岡)が出演し、6団体による演奏が行われました。

トップを飾った「太鼓集団天邪鬼」(東京)は、海外でも人気の高い団体で、舞台にひきつけられる熱演振りでした。続いて「和太鼓暁」(東京)は、気迫あふれる演奏を披露し、会場は圧倒されました。昨年の

シニアコンクールで名人位を獲得した松本敏春氏(石川・加賀の太鼓「無限」)は、シニアならではの演奏を披露しました。「橘太鼓『響座』」(宮崎)は、激しくも乱れのない息の合った演奏で、大きな歓声が沸きました。妃殿下のご出身地香川からは「和太鼓集団響屋(おとや)」(香川)が、会場を明るくするような軽快で楽しい演奏をし、客席を盛り上げました。最後は第21回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて2017年に続く2度目の優勝に輝いた「和太鼓たぎり」(福岡)が、課題曲「凜」と自由曲「眞主羅生(ますらお)」を披露しました。予選509団体、5,180名(含ブラジル・台湾)から選ばれた61団体の激戦を勝ち抜いた見事な演奏にお客様から惜しめない拍手が贈られました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「和太鼓たぎり」が送り太鼓を演奏しました。観客の皆様は、「太鼓に元気をもらった」「感動した!」と喜んでおられました。

皆様のご協力により過去最高額の1,641,000円の募金が集まり、全額を「(一社)バードライフ・インターナショナル東京」にお渡しいたしました。絶滅の危機に瀕した鳥類を保護するための活動として活かしたいとのことでした。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。



(フィナーレ)

*「(一社)バードライフ・インターナショナル東京」よりご寄稿いただきました。



一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京 代表理事 鈴江 恵子

この度2019年5月24日に開催された第23回日本太鼓チャリティコンサートの募金の寄附先として、バードライフ・インターナショナル東京を選んでいただきました。

当日は、名誉総裁である高円宮妃殿下ご臨席のもと、大勢の皆様がご来場になり、公演前のレセプションは華やかで笑顔の絶えない場となりました。会場では、300名を越える皆様が日本太鼓の演奏をご鑑賞になられ、満席という、大変有難く、嬉しい状況でした。

場内に響くドンドンという太鼓の音は力強く、気迫に満ちた鮮やかなパフォーマンスで、そのエネルギーに息を呑みました。演者の方の凄みのある表情は今も目に焼きついています。お帰りの方々の中には感動の涙を浮かべる方もいらして、太鼓の音が心に深く届いたのだと思います。公演後も多くの方から、感動した、圧倒されたというお声があがりました。

お陰様で、募金額は1,641,000円に上りました。この額は、チャリティコンサートの過去最高額を上回ったそうです。寄附先として当団体を選んで下さり、開催に向けて様々なご配慮をいただきました塩見理事長、日本太鼓財団関係者の皆様、公演者の皆様、そしてご来場くださった皆様に心より御礼申し上げます。

今回のご寄附は、高円宮妃殿下名誉総裁ご就任15周年を記念して設立される基金「BirdLife International Japan Fund for Science」として、バードライフの根幹である全世界の鳥類を調査研究し、絶滅の危機に瀕した鳥類種をレッドリストとして公表する活動のために、大切に使用させていただきます。

IUCN(国際自然保護連合)が発表する鳥のレッドリストは、科学的な調査に基づいていることから、各国の政府や企業、研究者たちが環境保全活動を行う際の基礎データとして重用しています。この事業は資金獲得が困難なため、長期安定的にこの事業を継続するための基金の基盤づくりに取り組んでいます。

皆様からのご支援をもとに私どもの活動も、太鼓の演奏と同様、多くの方の心に響き、届くように、今後も力を尽くして活動して参ります。これからも太鼓の伝統が未永く後世に続き、国や人々の枠を越えてさらに普及していくことを願っています。この度は誠にありがとうございました。

*「和太鼓暁」、「和太鼓集団響屋(おとや)」よりご寄稿いただきました。

和太鼓暁(東京) 代表 塚本 鷹

この度は、公益財団法人日本太鼓財団の皆様のご厚意により、第23回日本太鼓チャリティコンサートに出演させていただき、誠にありがとうございました。あのような素敵なステージで演奏出来たこと、大変光栄に思います。関係者、スタッフの皆様には心より御礼申し上げます。

今回、演奏させていただきました「阿修羅」という曲は、奈良県興福寺の阿修羅像を題材にしたものです。戦いの中では猛々しくも、それでいて凛とした表情を持つ阿修羅を日本太鼓と人が持つエネルギー、力強さで表現いたしました。

平成から令和へと時代が移り変わる中で、現代に生きる私共よりも遥かに長い時をかけて受け継がれてきた太鼓という楽器を演奏させていただくことを通し、日本の良さ、そして太鼓の持つ魅力というものを改めて感じる事ができました。

また、全国各地から集まった打ち手の皆様との出会い、会場にお越しいただきましたお客様との出会いに感謝するとともに、これ以降も太鼓の輪がさらに大きくなり、太鼓界全体で発展していけるよう精進いたします。

最後になりましたが、今回お力添え頂きました、日本太鼓財団の皆様はじめ、スタッフ、関係者の皆様に感謝申し上げます。



和太鼓集団 響屋(おとや)(香川) 代表 詫間 浩二

まず始めに、素敵な舞台での演奏の機会を与えていただいた公益財団法人日本太鼓財団の皆様、当日舞台進行に携わっていただいたスタッフの皆様、に、厚くお礼申し上げます。

高円宮妃久子殿下をはじめとする各界からの著名な方々の前で演奏を披露することができ、大変に光栄なことと感激いたしております。また香川県で活動している私共にとって、日ごろ会うことの出来ない実績ある出演者の皆様との交流など、大変刺激的な経験となりました。

今回演奏した曲「あした天気になあれ」は、東日本大震災の直後に作曲したものです。未曾有の大災害に対し太鼓団体として何か出来ることはないかと考え、支援募金を募る一助として作調しました。聞いてくださいました方の心を励まし、少しでも元気を届けられるような演奏を心掛け、一日でも早い完全復興を願いながら演奏を続けています。

日本の中心の東京で演奏する機会を与えていただき、メンバー一同感謝の気持ちで一杯です。この経験を糧にし、今後ともより一層地域に根付いた音作り、演奏活動をしてまいりたいと考えています。

ありがとうございました。



(太鼓集団天邪鬼・東京)



(松本敏春・石川・加賀の太鼓「無限」)



(橘太鼓「響座」・宮崎)



(和太鼓たぎり・福岡)

<出演団体>

1. 太鼓集団天邪鬼(東京)
2. 和太鼓 暁(東京)
3. 松本敏春(石川・加賀の太鼓「無限」) *第15回シニアコンクール名人
4. 橘太鼓「響座」(宮崎)
5. 和太鼓集団 響屋(おとや)(香川)
6. 和太鼓たぎり(福岡) *第21回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体

＜3月のジュニアコンクールに來日した海外2団体より感想文をいただきました＞

ブラジル「ドラセーナ清心太鼓」 代表 宮口 レアンドロ けんじ

「日本太鼓ジュニアコンクールで演奏したい」という夢が現実になりました。今回ジュニアコンクールに参加した13名が集まる前から、それはずっとチームの夢でした。出場が決まってから、チームは休日もなく、ほぼ毎日練習を続けました。

代表の私にとって、8年前まだちびっ子だった子供たちが成長し、舞台上で演奏する姿を見て感動し、演奏中はずっと涙が流れていました。

このジュニアコンクールでのもう一つの大切な経験は長谷川先生との講習会でした。先生の教えは真っすぐではっきりとしていて、ブラジルでは「基本」の練習を大切にしているグループがあまりないのですが、今回、先生の稽古でその大切さに気付きました。そして太鼓演奏者にとって最大の壁は自分自身であることも分かりました。この二つの教えはできるかぎり、ブラジルの太鼓演奏者に普及したいと思います。

日本にいる間、いつも居心地の良さや温もりを感じました。自分の誇り高き祖先の故郷にいて、大好きな日本太鼓を演奏できて、最高の思い出となりました。日本財団、日本太鼓財団の皆様は心から感謝いたします。またいつかみんなに会えるよう願っています。

演奏リーダー 田伏 カイオ セザル けんぞう

ブラジル太鼓選手権大会を優勝し、日本太鼓ジュニアコンクールに参加することはずっと前からグループの夢でした。今はどんな厳しい練習でも、かいた汗も、流した涙も、意味があった気持ちがあります。このたび、人生の教訓となったことがたくさんありました。

日本を見学し、初めてブラジルはどれほど成長できるのか気づきました。太鼓としてはもちろん、社会としても日本から学ぶことが多いです。日本とブラジルの差を見て落ち込んだのではなく、こうした生活をブラジルでも実現するために頑張る気持ちが盛り上がりました。そのため、日本で覚えたことのなかで、日本人の価値観、相手に対しての尊敬、ものに対する感謝がとても大切だと思います。

日本太鼓ジュニアコンクールで演奏をすることは数年前、考えられなかったことでした。素敵な経験となり、一生忘れられないことです。

僕たち清心太鼓は日本財団や日本太鼓財団のおもてなしと温かい気持ちに心から感謝します。これまで考えられなかった友情の絆を作ることができました。ありがとうございました。



(ジュニアコンクールでの演奏・ブラジルチーム)

台湾「柏齡太鼓團」 代表 陳力愷

柏齡太鼓は、2008年から今日に至るまで11年の歴史があります。2018年12月に行われた台湾太鼓ジュニアコンクールで優勝。台湾代表として出場した第21回日本太鼓ジュニアコンクールでは、特別賞「郡山市教育委員会賞」を受賞しました。

太鼓に取り組む中で、指導者も団員達も日頃の生活の中では学ぶことができない事をたくさん学ぶことができました。その中でも特に重要なのが「態度」であると思います。通常、台湾の学生は夜遅くまで塾に行くため、夜遅くまで練習しないでほしいという保護者の要求があるなど、なかなか放課後の時間に練習することが難しいです。しかし、このような状況の中でも私たちは、保護者に大きな大会に参加し、結果を残すためにはたくさん練習しなくてはいけないことを伝え、理解を得ました。子どもたちには、宿題は必ず学校で終わらせる、パソコンや携帯電話の使用禁止、太鼓の時間以外は授業の復習をするなど時間を確保する方法を伝え、練習時間をつくることができました。子どもたちは大きな目標に向かって、娯楽の時間を惜しんで練習に励みました。

この試みを2018年7月に開始してから2019年3月までで、団員たちは時間の使い方の良いサイクルをつかむことができました。同時に練習の中で、すべての動きを揃えるよう「一生懸命」に取り組むということが実践できました。さらに、この期間中、ずっと変わらない道理である「確固たる意思」「努力」「奮起して立ち向かう」ということができたと感じております。

最後に、私たち柏齡太鼓がこのような大きな舞台上で演奏できるのも日本太鼓財団の塩見理事長をはじめ、皆様のお力添えあってのことと厚く御礼申し上げます。台湾まで私たちを指導しに来てくださる長谷川先生、毎回日本まで引率してくださる台湾太鼓協会王理事長、江攻藝先生、またこの度受け入れてくださった日本太鼓財団の皆様大変お世話になりました。子どもたちを福島まで応援しに来てくださった保護者の皆様、関わってくださったすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。

演奏リーダー 楊于賢

何をするにもやる気が必要です。あなたのやる気はどこから湧き出てきますか？家族、友人、先生の応援、もしくは諦めそうになった時に周りの人から言ってもらった「頑張って」という一言かもしれません。あるいは、ジュニアコンクールで演奏した“挑戦”のように、自分自身へ挑戦する気持ちかもしれません。あなたは何に挑戦しますか？何のために挑戦しますか？

12月の台湾でのコンクールから、皆今回のコンクールのために全身全霊で邁進して参りました。舞台の上での1回の演奏のために、10年という月日をかけ、汗あり涙ありの険しい道のりでしたが、“確固たる意志”をもち、努力し続けてきました。この道のりの中で、チームの仲間たちと助け合い、目の前の事に確実に取り組みながら歩んできました。舞台の上では“打つこと”だけを考え、緊張せず、恐れず、力強く、心を込

めて打つよう心がけました。すると舞台を降りた後は、すべてを出し切り、大きな達成感を感じることができました。

幼いころから育ててくれた両親、チームを指導してくださった陳力愷先生と漢堡先生、私と一緒に厳しい道のりを歩んでくれたチームの団員、一緒に戦ってくれた仲間たち、いつも励ましてくれた先生、同級生に心から感謝します。

雪遊び、花見、空の上から見る日本、ディズニーランド、すべてのことを心待ちにしていました。私たちが集中してコンクールに臨むことができるようサポートしていただき、コンクールの後はこの練習期間のプレッシャーを一気に吹き飛ばすような楽しい計画を立ててくださった日本太鼓財団の皆様へ感謝申し上げます。日本とブラジルの方との交流は短い時間ではありましたが、一緒に食事をしたり、お話をしたり、踊ったりしながら楽しく交流することができました。一生忘れられない、楽しい思い出となりました。

チャンスは準備ができている人のところへ、成功は努力している人に、山は一步では登りきることができません。必要なことは努力し続けることです。私は才

能がある人間ではありませんが、グラミー賞を受賞したレディ・ガガが言うように「夢をかなえるためには、何度否定されても、挫折をしても、それでも立ち上がり、勇気を出して前に進み続けること」を常に意識し、努力を続けてきました。これからも努力する気持ちを忘れず、自信をもって2年後のコンクールに挑戦したいと思います。全力で取り組み、絶対に諦めません。がんばるぞ、柏齡太鼓！

今年3月に開催いたしました日本太鼓ジュニアコンクールにおいて、台湾「柏齡太鼓團」は特別賞「郡山市教育委員会賞」を、ブラジル「ドラセーナ清心太鼓」は特別賞「株式会社浅野太鼓楽器店賞」を受賞しました。また、両団体に国際友好賞として長胴太鼓1尺5寸を贈呈いたしました。

次回「第22回日本太鼓ジュニアコンクール」は、2020年3月22日(日)「名古屋国際会議場センチュリーホール」(愛知県名古屋市)において開催いたします。



(雪を楽しむブラジル・台湾チーム)



(ジュニアコンクールでの演奏・台湾チーム)

2018年度日系研修「太鼓の指導者育成」JICA事業 研修生6名 全員公認指導員に昇級・認定

2019年1月6日(日)から3月27日(水)までの3ヶ月間、JICA(独立行政法人国際協力機構)からの受託事業として中南米地域の日系人を対象とする2018年度日系研修「太鼓の指導者育成」JICA事業を行いました。

日系人研修としてはブラジルから研修生6名が来日しました。JICA横浜でオリエンテーションを済ませた後、諏訪響太鼓店(長野県岡谷市)を拠点に研修を受けました。公認指導員を目指し1月26・27日(土日)に福岡県久山町で、2月2・3日(土日)に東京都港区で開催された日本太鼓支部講習会、2月16・17日(土日)に熊本県宇城市で開催した日本太鼓全国講習会に参加しました。

また、様々な専門打法を学ぶため、御諏訪太鼓保

存会(長野県岡谷市)、高野右吉と秩父社中(埼玉県秩父市)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県由布市)で指導を受けました。

さらに、富岳太鼓(静岡県御殿場市)では、障害者への太鼓の指導方法を学び、諏訪響太鼓店では太鼓の製造法および修理法を学びました。

3月24日(日)に福島県郡山市で開催した第21回日本太鼓ジュニアコンクールではスタッフとして参加し、事業運営について学びました。

3ヶ月間の研修の結果、2級公認指導員に1名が昇級、3級公認指導員に5名が認定されました。

今後、ブラジル太鼓界での活躍に期待しています。ご指導いただいた先生方、お世話になった方々、誠にありがとうございました。

* J I C A 研修生より感想文をいただきました。

2級公認指導員 ブラジル太鼓協会 山本 雄二 ブルーノ

3ヶ月間、この日系研修プログラムに参加し、大変お世話になりました。私はずっと前から日本太鼓の事を勉強していたけど、この研修のおかげで今までにない経験を積む事が出来たから感謝しています。

太鼓の製造工程については、御諏訪太鼓の工場で、牛の皮を操る事、皮を伸ばす事、そして太鼓を調整する事を学びました。また、太鼓の適切な保管とメンテナンスについても覚えました。

講習会で使われる太鼓の教本については、古屋先生から教本の大事なポイントの説明を頂いて、そして確認するために一人一人が自分で教本の内容を説明しました。それから、教本を勉強している間に日本の伝統文化や太鼓の歴史や日本語などを勉強していたので、太鼓講習会の日を、私は安心して迎えることができました。また、御諏訪太鼓の先生や先輩たちのおかげで、太鼓の打ち方、構え方、バチの握り方を覚えました。

あとは、山内強嗣先生(富岳太鼓)、高野右吉先生(秩父屋台囃子)、長谷川義先生(豊の国ゆふいん源流太鼓)にも感謝しています。新しい打ち方や曲を教えてください、大変お世話になりました。

最後に、私達が日本に滞在した3ヶ月間の予定を計画して、移動する時に同行するなど、私達をサポートして下さいました日本太鼓財団の皆様へ感謝します。

この研修で日本文化の多くの事を理解して、多くのの人々に感謝しています。心からお礼を申し上げます。大変お世話になりました！どうもありがとうございました！



(御諏訪太鼓保存会で専門打法を学ぶ山本氏:左から2番目)

3級公認指導員 天龍和太鼓 中村 タチアナ 茉莉

この3ヶ月は素晴らしい経験でした。

始めはこの研修でどうなるか、とても心配と緊張していましたが、先生方はとても親切であったという間の楽しい時間でした。場所によってそれぞれ特徴があり、素晴らしい技術だと思いました。

御諏訪太鼓保存会の皆さんには一番長い間お世話になり、毎日明るい日々でした。私達が太鼓を作る時にミスしても最後まで丁寧に教えてくれました。日本語の難しさをとても感じましたけれど日本太鼓の楽しさを教えてくれました。

秩父屋台囃子の先生方はとても楽しくて優しい方々で自分の感覚を成長させる場所だと思いました。譜面ではなく、耳と目であるべく早く覚える必要がありました。それもとても面白くてずっと太鼓をやっていたいと思いました。

ゆふいん源流太鼓はとても綺麗な場所で、住んでいる人達は恵まれていると思いました。毎日美味しいごはんを食べて、厳しい練習を頑張れると思いました。最初はできるかあまり自信がなく、皆怖いイメージがありました。長谷川先生に会うことができたくさん勇気をもらいました。源流太鼓の皆さんにとっても優しくして頂き心から感謝しています。

御殿場ではあまり時間がなくて残念でしたが先生方はとても優しく、親切にしてくれました。練習の流れはブラジルと一番似ていると思いました。体の大切さや心と人間性を成長させる場所だと思いました。全部細かく説明していただき、本当にありがとうございました。

ジュニアコンクールもまた良い経験でした。チームが演奏した後「お疲れ様でした」と言う度に涙がでそうでした。それは昔私達がジュニアコンクールに参加したこともあると思いますが、一年間ずっと練習してこの5分間でその練習の結果を見せるため子供たちはこんなに頑張ったなって気持ちがいっぱいでした。全チーム本当によく頑張ったと思いました。

いつも私達の背中を押してくれた日本太鼓財団の皆さん、いつも心配してくれた J I C A の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



(太鼓の皮を伸ばす中村氏)

J I C A 研修生 6 名

山本 雄二 ブルーノ(ブラジル太鼓協会)、岩倉 藤本 フェリペ けい(一魂和太鼓)、

中村 タチアナ 茉莉(天龍和太鼓)、光岡 マウリシオ(空鯉和太鼓)

村上 ジュリアナ 冴美(クリチーバ若葉太鼓)、山田 享 エリキ(コロニア・ピニャール飛翔太鼓)

3級公認指導員 コロニア・ピニャール飛翔太鼓 山田 享 エリキ

この研修では太鼓だけではなく日本の文化、習慣などたくさん学びました。

最も長く滞在した長野県岡谷市の御諏訪太鼓に始まり、色々学びました。太鼓の製造には日本へ行く前から興味があって毎朝、とても楽しみでした。古屋先生、矢ヶ崎先生と山本先生に、実際に太鼓の作り方をやらせてもらってとても良かったです。例えば、皮のなめし方、縫い方、張り方と締め方、先生方はとても親切に教えてくれ、覚えやすかったです。

昼は御諏訪太鼓の曲を習い、感じたのは、ブラジルとは全く違う曲だと感じました。だから、ブラジルでは日本で学んだ曲を私のグループに教えたり、こういう曲を日本で打っているのだと伝えたいです。

日本太鼓講習会のための勉強や練習は、大変助かりました。それに、特に学科の方はとてもいい日本語の勉強になりました。そして、講習会では、教本の内容に慣れていましたから、講習会の実際の流れについては福岡支部講習会で勉強しました。他の講習会でも慣れ、それが自信になり、講習内検定としてよく教えることができたと思います。でも、上達することはまだたくさんあるので、これからそれを中心にして頑張っていきたいと思います。

いろんなところで特殊な打法を学びました。埼玉県秩父市では、秩父夜祭に打つ「秩父屋台囃子」と言う曲を覚えました。そこで一番大切だと学んだのは、太鼓の音の大切さです。それは祭りの時は山車の中で打つので打っている姿は見えないからです。

静岡県御殿場市で、障害者の施設などを見学し、とても興味深かったです。それを見て、ブラジルでは障害者にたいしてどのように指導すればいいのか考えさせられました。障害者の太鼓発表を見て、とても感動しました。太鼓がいい影響を与えているのを見てすごいと思いました。

大分県由布市ではゆふいん源流太鼓にたくさん教わりました。特殊な打ち方を覚えるのはとても難しかったし、山での練習は厳しかったけれど、とてもいい練習でたくさん学びました。長谷川先生から「ブラジルの太陽」を作曲していただき、とても嬉しいです。それに、長谷川先生が言ったことが印象に残っています。「知識はどのくらい重ねても荷物にならない」それを聞いて、これからもっともっと太鼓、大学、人生について学んでいきたいと思いました。

これから、この研修で覚えたことを生かしてブラジルの太鼓のレベルをあげていきたいと思います。この機会を与えてくれたJICAと日本太鼓財団に感謝しています。



(秩父屋台囃子で鉦を鳴らす山田氏)

<第65回日本太鼓全国講習会(岩手)>

6月29・30日(土日)岩手県支部主管の全国講習会を岩手県八幡平市「八幡平市松尾コミュニティセンター」にて実施いたしました。地元岩手県をはじめ、10都県から76名が受講し、開会式では、塩見和子理事長、東北太鼓連合齋藤通夫会長、岩手県支部及川賢一支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間の講習会では、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

総合指導 古屋 邦夫

○基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 安藤 王子

5級基本講座 川口 亜香

○講話「未来に伝えたい太鼓の木と皮の話」

浅野 昭利

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 4名受験 4名合格(2名認定)

2級検定 11名受験 11名合格(3名認定)

3級検定 8名受験 8名合格・認定

4級検定 9名受験 9名合格・認定

5級検定 23名受験 23名合格・認定

○専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美

大江戸助六太鼓講座(単式複打法) 小林 正道

締太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一



(御諏訪太鼓講座)

＜第85回日本太鼓支部講習会(宮崎)＞

6月8・9日(土日)宮崎県宮崎市「株式会社太鼓屋・道場」にて宮崎県支部主催による支部講習会が行われ、地元宮崎県を中心に50名が参加しました。

開会式では宮崎県支部上杉春明支部長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。温暖で過ごしやすい南国宮崎で、受講生は2日間集中して受講していました。

- 総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
 - 5級検定 32名受験 32名合格・認定



(5級基本講座)

＜第86回日本太鼓支部講習会(北海道道南)＞

6月15・16日(土日)北海道室蘭市「ホテルサンルート室蘭」にて北海道道南支部主催による支部講習会が行われ、地元北海道を中心に30名が参加しました。開会式では日本太鼓財団北海道連合会太田義高会長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり、2日間の講習会が始まりました。寒さがまだ残る北海道で、受講生は2日間一生懸命受講していました。

- 総合指導 古屋 邦夫
- 基本講座
 - 4級基本講座 今池 薫
 - 5級基本講座 橋本 光司
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
 - 4級検定 18名受験 18名合格・認定
 - 5級検定 8名受験 8名合格・認定



(4級基本講座)

＜第13回台湾太鼓講習会＞

7月6・7日(土日)台湾太鼓協会主催の第13回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から118名が受講しました。

開会式では、王妙涓理事長が挨拶に続いて、日本からの講師を紹介し、総合指導の古屋邦夫技術委員長が講習会の内容を説明しました。講習会が始まると、受講生は講師の指導を一生懸命聴いていました。

- 基本講座
 - 3級基本講座 安江 信寿
 - 4級基本講座 松枝 明美
 - 総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
 - 3級検定 21名受験 21名合格・認定
 - 4級検定 32名受験 32名合格・認定
 - 5級検定 56名受験 56名合格・認定

高島奈々(岐阜)、吉岡賢次(兵庫)、高戸風香(東京)の3氏が助手として活躍されました。



(3級基本講座)

訃報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました児玉利夫氏(兵庫)がご逝去されました(享年93歳)。児玉氏は財団の理事としてまた、兵庫県支部長として財団の活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

* 6月23日(日)中日本太鼓連合創立記念「中日本太鼓フェスティバル」が開催され、中日本太鼓連合古屋邦夫会長よりご寄稿いただきました。

中日本太鼓連合創立記念「中日本太鼓フェスティバル」を開催して

中日本太鼓連合 会長 古屋 邦夫

令和を迎えた6月23日(日)、富山県のアイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、中日本太鼓連合創立記念「中日本太鼓フェスティバル」を開催いたしました。

この連合は(公財)日本太鼓財団において九州・東北・北海道・関八州に次ぐ5番目のブロックとして、北陸3県(富山・石川・福井)と愛知・岐阜・長野を合わせた6県にて立ち上がりました。実際、地域の文化・特色が大きく違う団体が1つの目的に向かって活動するには難しい現実がありました。

しかし、老若男女・健常者・障害者、いずれも太鼓を愛する仲間として心は一つであり、このフェスティバルにより連合の第一歩が踏み出せたように思います。今後は新潟・山梨を含む8県に広がればうれしい限りです。

今回は5県から大人・ジュニア各1団体、計10団体による地域に根付いた伝統ある太鼓をはじめ、卓越した妙技や次世代を担うジュニアの力強い演奏を披露しました。ご来場者からは拍手とともに感動の涙もいただき、太鼓の響きを全身で受け止め、余韻と共に感動をお持ち帰りいただけたように感じます。

第1回目となるフェスティバルがご来場の皆様をはじめ、開催地元の多大なる協力のもと開催できましたことに心より感謝申し上げます。今後益々充実させながら、ジュニアコンクール・ブロック大会への発展も考えていきたいと思っております。引き続き(公財)日本太鼓財団をはじめ関係各位の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、報告と御礼といたします。



助六太鼓が世界囲碁大会レセプションに演奏協力

4月18日(木)世界で活躍する20歳以下の囲碁棋士を対象とした「第6回グロービス杯世界囲碁 U-20」のレセプションにおいて(公財)日本棋院からの6回目の出演依頼を受け、助六太鼓(東京)が演奏を披露いたしました。

当日会場には世界各国から集まった若手の囲碁棋士を含む約100名の観客が助六太鼓の粋な演奏に見入っていました。



社会福祉法人富岳会創立50周年記念式典が開催

4月27日(土)静岡県御殿場市「御殿場高原ホテル」において、「社会福祉法人富岳会創立50周年記念式典」が開催され、当財団から塩見和子理事長が出席しました。

富岳会は40年以上もの長きにわたって日本太鼓による療育活動に取り組んでこられました。1999年から障害を持たれながらも日本太鼓の演奏に取り組む団体の成果発表と交流の場として「日本太鼓全国障害者大会」を当財団と共催事業として開催しております。今後のさらなるご発展を祈念しております。



(挨拶する山内令子会長)

日本財団笹川陽平会長が旭日大綬章受章

日本財団笹川陽平会長が、春の叙勲で旭日大綬章を受章されました。旭日章は社会のさまざまな分野で顕著な功績を挙げた人物に授与されるもので、海事関係事業や世界保健機関(WHO)のハンセン病制圧大使、ミャンマー国民和解担当日本政府代表などとしての長年にわたる尽力、社会福祉など幅広い分野での活動が評価されました。心よりお祝い申し上げます。

公認指導員誕生

日本太鼓財団創立20周年を記念して実施された公認指導員の特別推薦について、講習内検定を経て運営・技術委員会で検討した結果、新たに以下5名が3級公認指導員に認定されました。

渡辺孝昭氏(熊本・人吉ねぶか太鼓)、坂口繁幸氏(熊本・菊陽武蔵剣豪太鼓)、
梅花孝好氏(北海道・橋本流みゆき太鼓)、村上晃治氏(山形・おおえ舟唄太鼓の会)、
門脇勝文氏(宮城・高倉薬太鼓)

また、公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て運営・技術委員会で検討した結果、1級公認指導員2名、3級公認指導員1名が昇級、認定されました。

1級公認指導員:修行兼一郎氏(鹿児島・天孫降臨霧島九面太鼓保存会)、
長谷川準氏(大分・豊の国ゆふいん源流太鼓)

3級公認指導員:尾崎誠二氏(大分・横瀬太鼓)

2019年7月現在、1級公認指導員45名、2級36名、3級165名、合計246名となりました。
昇級、認定された皆様おめでとうございます。今後の益々のご活躍を期待しております。

各種会議

<理事会>

6月4日(火)、2019年度理事会を開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2018年度事業報告について
 2. 2018年度補正予算(案)について
 3. 2018年度決算(案)について
 4. 評議員会の開催について
- 報告事項 職務執行状況について

<評議員会>

6月19日(水)、2019年度定時評議員会を開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2018年度事業報告について
 2. 2018年度補正予算(案)について
 3. 2018年度決算(案)について
- 報告事項 職務執行状況について

<運営委員会・技術委員会>

7月4日(木)、第64回運営委員会・第66回技術委員会の合同委員会を笹川記念会館(東京都港区)にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2018年度事業報告並びに決算報告について
2. 2019年度事業の実施と今後の予定について
- ①第23回日本太鼓チャリティコンサートについて
- ②第4回大学太鼓フェスティバルについて
- ③第21回日本太鼓全国障害者大会について
- ④国民文化祭・いがた2019太鼓の祭典について
- ⑤浅草太鼓祭について
- ⑥第16回日本太鼓シニアコンクールについて
- ⑦第22回日本太鼓ジュニアコンクールについて
- ⑧日本太鼓技術普及事業について
- ⑨国際交流事業について
- ⑩日系研修員受入事業について
- ⑪ワールド太鼓カンファレンス準備事業について
- ⑫日本太鼓貸与事業について
- ⑬広報事業について
- ⑭協力事業について
- ⑮後援事業について
- ⑯調査研究事業について

3. 日本太鼓資格認定事業について

- ①第7期公認指導員更新研修会の実施結果について
- ②公認指導員の昇級及び認定について
4. その他

<代議員会>

7月4日(木)、第22回代議員会を笹川記念会館(東京都港区)にて開催いたしました。

代議員会には、45支部中、三重・島根・広島・鹿児島・沖縄を除く40支部、賛助会員、日本財団、財団事務局が出席、総勢91名により開会しました。

冒頭、笹川良一氏、小口・池田両元副会長の3氏と東日本大震災の犠牲者の方々やこの1年間に亡くなられた故人に対し黙祷の後、議事に入りました。議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2018年度事業報告並びに決算報告について
2. 2019年度事業計画並びに収支予算について
3. その他
- ・第22回日本太鼓ジュニアコンクール予選一覧
- ・全国大会県別出場一覧表について
- ・支部関連資料提出状況について
- ・その他

事務局だより

第4回大学太鼓フェスティバル

期日:2019年8月29日(木) 開場17:00 開演17:30 終演予定21:00

会場:文京シビックホール大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

主催:公益財団法人日本太鼓財団 共催:大学太鼓フェスティバル実行委員会

協力:株式会社宮本卯之助商店 協賛:日本財団

出演団体:16団体(7都県)

- ◇文教大学和太鼓部楓(神奈川)、洗足学園音楽大学和太鼓部「鼓弾」(神奈川)、東京農業大学和太鼓同好会山響鼓(神奈川)、西武文理大学和太鼓クラブ鼓月(埼玉)、田中孝記念立教大学コミュニティ福祉学部和太鼓プロジェクト絆の会(埼玉) 神田外語大学和太鼓サークル神樂(千葉)、東京理科大学和太鼓サークル樹(千葉)、武蔵野大学和太鼓隼(東京)、日本体育大学伝統芸能・和太鼓同好会和桜(東京)、立教大学合唱団アヒル会(東京)、中央大学和太鼓サークル鼓央(東京)、多摩美術大学鱧水太鼓(東京)、和太鼓サークル樂華(東京)、京都造形芸術大学和太鼓恵(京都)、流通科学大学和太鼓部(兵庫)、立命館アジア太平洋大学和太鼓“楽”(大分)

◇ゲスト団体:4団体(4都県)

和太鼓たぎり(福岡)、太鼓集団天邪鬼(東京)、御諏訪太鼓保存会(長野)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)

入場料:無料

第21回日本太鼓全国障害者大会

期日:2019年10月6日(日) 開場11:30 開演12:00 終演予定17:00

会場:倉敷市玉島文化センター

〒713-8121 岡山県倉敷市玉島阿賀崎1-6-27 Tel.086-525-2611

主催:公益財団法人日本太鼓財団 共催:社会福祉法人富岳会

主管:日本太鼓財団岡山県支部 協賛:日本財団 出場団体:約30団体

入場料:無料

天皇陛下御即位記念

第34回国民文化祭・にいがた2019

第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会「太鼓の祭典」

期日:2019年10月13日(日) 開場10:00 開演10:30 終演予定17:00

会場:上越文化会館

〒943-0804 新潟県上越市新光町1丁目9-10 Tel.025-525-4103

主催:文化庁、厚生労働省、新潟県、新潟県教育委員会、

第34回国民文化祭第19回全国障害者・芸術文化祭新潟県実行委員会、上越市、上越市教育委員会、

第34回国民文化祭第19回全国障害者・芸術文化祭上越市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

主管:日本太鼓財団新潟県支部、新潟県太鼓連盟 特別協力:日本財団

◇オープニング演奏:新潟県太鼓連盟合同チーム(新潟)

◇公募団体:26団体(15県+台湾)

越後・親不知太鼓子不知太鼓、太鼓集団鼓明楽、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会、日本海太鼓、飛燕太鼓保存会、保倉川太鼓(以上新潟)、大館曲げわっぱ太鼓(秋田)、佐比内金山太鼓保存会(岩手)、越中大島太鼓振興会(富山)、手取亢龍若鮎組、天徳幼稚園保護者サークル天悠楽(以上石川)、瓜連おはやし保存会(茨城)、下野不動太鼓保存会(栃木)、群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部「飛翔」(群馬)、開成水神雷太鼓保存会(神奈川)、信濃国松川響岳太鼓、御諏訪太鼓保存会湖響龍夢(以上長野)、大治太鼓(愛知)、鼓國雷響JAPAN、岐阜県太鼓連盟獅子の会、美濃国高賀山太鼓(以上岐阜)、太鼓童子こかぶ広島、広島県立湯来南高等学校和太鼓部(以上広島)、綴り太鼓華鼓月(山口)、打吹童子ばやし(鳥取)、台湾源流打々(台湾)

◇ゲスト団体:5団体(5県)

太鼓道場風の会(山形)、御諏訪太鼓保存会(長野)、御陣乗太鼓保存会(石川)、和太鼓たぎり(福岡)、橘太鼓「響座」(宮崎)

入場料:無料

第66回日本太鼓全国講習会(岐阜)

期日:2019年9月21・22日(土日)

主管:中日本太鼓連合、日本太鼓財団岐阜県支部

会場:飛騨・世界生活文化センター 〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1 Tel. 0577-37-6111

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 安江 信寿
4級基本講座 高島 奈々
5級基本講座(初心者講座) 松枝 明美

専門講座

ゆふいん源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義
八丈太鼓講座(単式複打法) 菊池 修
締太鼓講座(単式単打法) 山部 泰嗣
講話 浅野 昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)

<申込先>

公益財団法人日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2-6F

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

申込締切:9月6日(金)*当日到着分まで有効

<お問合せ>

日本太鼓財団岐阜県支部

事務局長 高島 奈々

Tel. 090-8183-2539

第87回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期日:2019年9月28・29日(土日)

主催:日本太鼓財団北海道道西支部

会場:幌向総合コミュニティセンターほっとかん

〒069-0371 北海道岩見沢市幌向南1条1丁目70-5

Tel. 0126-26-1548

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

3級基本講座 橋本 光司

4級基本講座 今池 薫

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団北海道道西支部

支部長 秦野 智徳

〒069-0372 北海道岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

Tel. 0126-26-2825 Fax. 0126-26-3939

携帯080-1899-5761

*詳細は決まり次第当財団ホームページに掲載します

第16回日本太鼓シニアコンクール出場者募集

期日:2019年11月17日(日) 開演13:30*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県予選が開催されます

会場:輪島市文化会館

〒924-0001 石川県輪島市河井町20部1番地1 Tel. 0768-22-7666

主催:公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社

主管:日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会 協力:株式会社浅野太鼓楽器店 協賛:日本財団

演奏時間:5分以内 表彰:名人位・準名人・特別賞等

費用:全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

お問合せ・申込先:公益財団法人日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2-6F 担当:印出、笠原

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

申込締切:8月30日(金)*当日到着分まで有効

入場料:無料

公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

